

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

平成7年分の路線価公表！

Q：平成7年分の路線価が公表されましたが、路線価について、どういう傾向があるのでしょうか。

A：平成7年分の路線価が、8月18日に公表されました。

全国平均では13.3%のダウンとなり、平成4年に評価額が公示価格の8割水準に引き上げられてから、4年連続の下落となりました。平成5年はΔ18.1%、平成6年はΔ16.6%、平成7年がΔ13.3%ですから全国的に下落幅は縮小しています。

商業地の下落割合は、18.2%で前年と同じ、工業地の下落割合は、8.6%で前年の8.1%を上回っており、依然として強い下落傾向が続いています。一方、住宅地では、3.8%の下落で前年の7.2%を下回り、下落率が縮小しています。

地域別では、東京都がΔ19.4%、大阪府がΔ19.3%と2割前後の大幅な下落傾向がみられます。47都道府県のうち、平均の評価額が上昇したのが山口県の+1.4%だけで、長野県、岩手県、秋田県、青森県、山形県、島根県、徳島県、高知県、佐賀県では、前年同様であり、残りの37の都道府県では低下しています。

最高路線価は、10年連続「東京都中央区銀座5丁目鳩居堂前銀座中央通り」で前年比Δ23.6%の1,550万円です。この地点の路線価のピークが平成4年で3,650万円であったので、その当時の42.5%まで下落したことになります。

